

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

No. 9  
2006. 3



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
タイ国ノンカイRC訪問ツアー 2	03
栗山ロータリークラブ 防犯パトロール隊編成	03
ローターアクト海外研修	04
世界ローターアクト週間にちなんで	05
カンボジア国際奉仕活動報告	06
会員訃報・新入会員のご紹介	07
ご協力に感謝申し上げます	08
2007-08年度ロータリー財団国際親善奨学生募集について	08
例会変更について・文庫通信	09
地区カレンダー (3月・4月)	10
出席報告	11

---

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房樹

## 仮面(ペルソナ)を脱ぐ場所・ ロータリーの例会

北国にも日一日と春の兆しが見えてきました。早いもので季節のうつろいと共に私も会長幹事さんの任期もまもなくローテーションします。あと3ヶ月、年度当初の活動計画をチェックしてください。そして次年度の会長幹事さんへの引継ぎ準備をお願いします。

3月13日を含む1週間は世界ローターアクト週間として、アクターと提唱クラブがともに共通の活動に参加するように求められています。

ロータリーはクラブという組織があつてこそ、その目的が達成されます。

同じようにローターアクトクラブ(インターアクトも同じ)は次代を担う青年男女がロータリークラブと同じくクラブ制度の長所を活かして自己研鑽のため、奉仕活動をする目的で生まれました。ローターアクトについては地区の担当委員長さんにお任せして、今月は「クラブ」について若干考察してみましょう。ではクラブ制度とはそもそもどのようなものでしょうか。人は一人では切磋琢磨できません。仏道を修行するにも叢林、僧林という言葉のとおりおおぜいの仲間が必要です。志を同じくする励まし合える同志が必要です。クラブ例会への出席は、これらのことをかなえてくれます。

クラブという団体は主にアングロサクソンの間で社交機関として発達しました。

古代ギリシャやローマ時代に類似の組織はありました。17世紀には、シェークスピアも会員であったブレッド・ストリート・クラブが生まれ流行のさきがけとなりました。歴史の無い国アメリカでは、クラブへの所属は、家柄や血筋に変わって身分の保証となりました。そのほかクラブは孤独を恐れ気の合った仲間と会いたいという集合欲をはじめとするさまざまな欲求(音楽、劇、スポーツ、コレクション、慈善など)を充足するだけでなく、家庭の代用ともなりました。クラブの要件の一つに会員のレベルの共通性が挙げられます。また本質的には親睦を目的とする活動でありわが国でも頼母子講、市町村の青年会も本質的にはクラブです。国際的な組織として、特にロータリーは会員同士の親睦の上に奉仕の理想を实践するクラブなのです。クラブにも統制力の強いもの、また比較的統制力のルーズなものがありますが、ロータリーは会員相互のアイデアの交換に重点を置くため出席に厳しく、統制力の強い組織です。ロータリーはクラブという制度を巧みに活用して世界170カ国に発展してきました。

先ほどクラブ制度の長所は志を同じくする仲間の切磋琢磨ということを申し上げましたが、もう一つ大事なことはクラブの会合で、本当の自分自身に帰ることです。

我々は普段「ペルソナ=仮面」をかぶって生活しています。ペルソナとはもともと演劇で役者がつける「仮面」を意味するラテン語で『人格・性格』を現す英語の「パーソナリティ」の語源です。人は「仮面」をつけることによって自分の素顔(内面)を人目にさらさず自我が守られます。社会の一員として生きていくため場面に応じて複数のペルソナを「役割」として使い分けます。人は「いくつもの取り外しの聞く顔」を持っています。社長としての顔、父親としての顔、夫としての顔など成長するに従い、人は社会の人々の期待する人物を演じるようになります。逆に言えば、社会生活を営むためには適切に自分を演じる必要があります。これらは全て自分の外側で演じられます。つまり自分の内面と外面の間に存在する仮面といえるでしょう。無論その仮面は社会生活を営む上で重要かつ必要なものであるからこそ身についたもので、今後も大切にしていかなければならないものが含まれています。ただしそのペルソナによって自分の本質が強く押さえ込まれている場合があることを知っておくことが必要です。

あなたのペルソナが強ければ強いほど、自分の本質を押さえ込み、仮の姿で現実を生きていることになるわけですから、あなたにとってそのペルソナが重要であればあるほどペルソナを外すことは難しくなります。ペルソナはいうなれば身につけていれば生きやすくなるものです。しかしペルソナの持つ役割に支配されてしまえば本当の自分を見失ってしまいます。全ての人間は自分で自覚していない素晴らしい能力を持っています。日々の生活の中では、自分を見つめ、自分を知り、評価することは不可欠で、時には仮面を外して自分自身の真実の姿を鏡に映してみることも大切なことです。真実の自分を探すことで、自分を活かし、他者を活かす知恵を知り更に組織や社会で自分の果たすべき本当の役割について学ぶことが出来ます。

ロータリーの例会は仮面を脱ぐ場所なのです。例会場の入り口で、浮世で身につけたもの、すなわち企業の大小、社会的地位や、名誉、金銭の多寡などを脱ぎ捨てて例会に臨みます。ロータリアンは資本主義の厳しい競争社会の職場から例会に出席します。ロータリーの例会場は唯一競争の無い空間なのです。この平等で競争の無い空間に身を置きますとロータリアンの心はリフレッシュして少年の心に戻ります。ポール・ハリスは例会の一時間は子供に返り神様になる時間だといいました。社長業を長く続けると社長の顔しか出来ない人が出てきます。いわゆる社長病です。役割に応じて視点を変えることは必要です。

しかし子供の視線でしか見えないものもたくさんあります。ロータリーの例会は仮面を脱ぎ、純粋な少年時代の自分自身に戻り、見失った自分の内面と対話することなのです。

ポール・ハリスは自伝の中で「大都会シカゴの小さなグループに集まってきた会員には、ロータリーは丁度砂漠のオアシスのようでした。会員は会場の入り口で肩書きをはずし、皆もとの少年に戻るのです。私にとってはクラブの集会に出ることは、故郷の谷間に帰るのと同じことでした」と述懐しています。

人間の本質は洋の東西を越えて変わらぬもので、ポールの述懐と同じく、禅の訓えの中にもペルソナを脱ぎ本来の自分自身を取り戻す方法が伝えられています。中国の宋の時代、古来より伝わる公案を取り上げた無門関という一巻があります。その中で瑞巖老師の「主人公」という挿話があります。老師は毎日毎日、「おい、主人公よ」と自分自身に呼びかけて、「はい」「はっきり目覚めているかね」「はい、はっきりしています」と自問自答したといわれます。

自分自身が「主人公」なのは当たり前なのに、それをわざわざ主人公と呼びかけるのはユーモラスです。しかしよく考えてみると私たちはいつも日ごろ仮面をかぶっていて、いついかなるときでも本当の自分自身、「主人公」であると言えません。このように「主人公」とは、実は私たち一人ひとりの主体性、人間性のことです。その主体性が常にしっかりと確立し、人間性にはっきり目覚めていること、それが「主人公」であるということなのです。そう考えるとなかなか「主人公」であるということは容易なことではないとお分かりいただけると思います。私たちは、ややもすると、周囲に影響されて、あっちへ行ったりこっちへ行ったり、ふらふら、うろうろしてしまいます。また、ともすれば自分の人間性を見失っているのが現状です。ですからまずこの「主人公」をはっきりとさせ、不動のものとしなければなりません。瑞巖老師のエピソードは確かにユーモラスですが、しかしひるがえて反省してみると、果たして今日どれほどの人が、自ら「主人公」と自信を持って問いかけ、「はい」と答えられるでしょうか。

人は時には仮面をはずして自分自身の真実の姿を鏡に映してみることも大切なことです。人間が成長する過程では、自分を見つめ、自分を知ることにもまた不可欠なことで、真実を知ることは同時に自分のペルソナを知ることでもあります。その意味でロータリーの例会は人生の道場であり、ロータリアンが仮面を脱ぐ場所です。もう数ヶ月すると私もガバナーの仮面をはずし、クラブの一会員として少年の心に戻りささやかながら奉仕の道を歩みたいと思います。



## タイ国ノンカイRC訪問ツアー 2 ——救急車の贈呈式を行いました——

世界社会奉仕(WCS)委員会  
委員長 齋藤修弥 (室蘭RC)

昨年11月2日から6日にかけて実施したタイ国ノンカイRC訪問ツアーの続報です。11月3日にノンカイ県の県庁を訪れスフォ・ラワンシリ知事に救急車のキーの贈呈式を行いました。これは昨年3月末に滝川RCからノンカイRCに寄贈された救急車です。毎日使用しているレスキュー隊の隊員によると、これまでの半年間で約2万kmを走行したという事です。つまりノンカイ県は約50kmの範囲にあるため、1度出動すると長距離を走ることが多く、出来ればもう一台救急車があればと話していました。セレモニーではスフォ・ラワンシリ知事から熱のこもった感謝の言葉と記念品の贈呈があり、こちらからも遠藤秀雄PGが記念品を贈りました。ちなみにレスキュー隊の隊長は今年のノンカイRCの会長が務めており、多数のロータリアンがボランティアで参加しているそうです。やはり若いロータリアンが多いクラブは活動内容が違ふと感心しました。2510地区内のRCの皆様、若し寄贈出来る救急車が有りましたら当委員会にご連絡のほど、宜しく御願いたします。私達はこれからも末永く交流を深めることを約束してノンカイを後にしました。



## 栗山ロータリークラブ 防犯パトロール隊編成



栗山ロータリークラブ「新世代奉仕委員会」では、社会奉仕活動の一環として、会員による「防犯パトロール隊」を編成しました。

ご承知のように、最近、小学生女児3人が殺害されると言う痛ましく悲惨な事件が相次いで発生しました。この様なことは、都市、過疎地を問わずどこの地域に於いても起こり得ると言っても過言ではありません。これらの防止策として、関係者はあらゆる手段を駆使して対処しようと模索しているのが現状です。しかしながら、いずれも特効薬・万能薬とは言えない状況にあります。

学校、家庭、地域の連携が必須であります。時宜を得てよりベターな方法として、地域全体で大人が弱い子供達を守って行かなければなりません。

このような考えから、我がクラブは、会員の奉仕により「防犯用ジャンパー・チョッキ・帽子」(緑色に統一)の3点セットを購入し、地域に見える開かれたロータリーとして率先して防犯活動を開始したところです。



## ローターアクト海外研修 2006年1月21日～25日 タイ チェンマイ、バンコック

ローターアクト委員会

委員長 柳

孝 一 (札幌南RC)

今回訪れたタイ、チェンマイにあるバーンサバイは、2002年7月7日日本人女性の手によって開設されたHIV感染者とAIDS患者のためのシェルターです。

2510地区のローターアクトとの関わりは2年前にさかのぼります。2004年の海外研修は本年と同じタイでした。タイ中部のナンブー寺というHIV感染者とAIDS患者約400人の収容施設に伺いました（ナンブー寺は日本のテレビで放送されたり、地区外のRCも支援しているので割と有名です）。出発の1週間前に、現地の日本人コーディネーターの方に、「タイ北部の施設で古着を必要としている施設があるので、持参してきて欲しい」とのリクエストがあり、参加者はトランクいっぱい古着を携えました。その古着がコーディネーターの手でバーンサバイに渡り、また、寄贈した古着に対し、お礼状やニュースレター等を数回送っていただきました。また昨年の地区大会、ローターアクトのブースでバーンサバイへの寄付を募り、ロータリアンの皆さんからの浄財を送りました。

今年度の海外研修は実際に「バーンサバイを見に行こう」と企画をしました。事前にバーンサバイで「何が必要か、何が出来るか」をメールや電話で打ち合わせをし、毛布や古着、それにキッチンハイター等の衛生用品が不足しているとのことで、クラブ単位で収集しました。筆記用具等の学用品や真駒内養護学校から提供いただいた中古車いす2台、総勢14名の航空機手荷物持ち込みぎりぎりまで運びました。



実際にバーンサバイで必要ない物もたくさんあったようですが、地域のボランティアを通じストリートチルドレン等に提供するとのことで大変喜んでいただきました。特にキッチンハイターは重宝しているそうです。

現在タイには100万人ちかいHIV感染者と約20万人のAIDS患者がいます。タイでは感染者と患者とその家族は地域がサポートするという考えが基本にあります。何らな事情で家族がケア出来ない、または市民権がないため十分なサポートを受けられない人が多くいます。そのような方がバーンサバイに入寮しています。現在、

入寮者は女性3名で、ここで心身のケアを行い社会へ戻る準備をするという自立を育成するための施設として活動しています。ここでは家族としての関わりを重視するため、施設があまり大きくないため多数の入寮者を受け入れることは出来ないようです。施設の老朽化に伴い今年の夏、規模が少し大きくなった新しいバーンサバイが誕生することなどを施設で働く早川文野さん（札幌出身）に詳しくお伺いしました。持参した物品と一緒に地区内アクターから集められたお金にロータリアンからの追加も合わせて献金して参りました。

実際に現場でAIDSの状況、施設の説明、患者さんのことなどを生の話として聞く事が出来、有意義で意味深い経験が出来たものと思っています。その後のチェンマイ、バンコクの観光もとても楽しかった事と、また参加したアクターに深い友情が育ったことを付け加え、報告いたします。

参加者RAC11名、RC3名 計14名





## 世界ローターアクト週間にちなんで

地区幹事 矢橋 潤一郎 (札幌東RC)

世界で最初のローターアクトクラブは、米国ノースカロライナ州のノースシャーロットRCによる提唱で、1968年3月13日に結成されました。RI理事会は1993年、ローターアクト創設25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。

社会奉仕プログラムとして設けられたローターアクトですが、38年経った現在、新世代プログラムの中核を担うようになりました。それに伴い「支援すべき若者」から「ロータリアンのパートナー」へと期待感も高まっています。また道外・国外では、ローターアクトOBの中からRCへの入会者が年々増加、ガバナーを務めるローターアクトOBも現れています。そうしたことから「インターアクト卒業生の受け皿」から「将来のロータリアンの育成」へと位置付けも変化しています。

ここでは地区内外のローターアクトの最新活動状況をご紹介します。

### ■函館大学ローターアクトクラブ35周年記念式典・祝賀会

2月11日、ホテルロイヤル柏木で開催（提唱 函館東ロータリークラブ）。酒井ガバナーノミニーほかロータリアン65名、RACは2500地区から4名、当地区28名。学長ほか関係者を含め、総勢123名の参加。

式典が終わったところで、函大RAC和田会長が隔って涙していました。聞けば、式辞でうまく喋れなかったのが悔しい、と。そんな失敗があったとは気付かないほど立派な挨拶でした。かわいい顔をしながら芯の強さが窺えます。受付から祝賀会、最後のお見送りまで、実に見事。大学RACは道内唯一となってしまいましたが、こうして見ると社会人RACに負けていません。

68年にRAプログラムが始まって今年で38年。同RACの35周年というのは相当な歴史です。一貫して学生のみで運営してこられたのは、学生の資質の高さと同時に、提唱RCの諦めない奉仕の精神によるものでしょう。

尚、祝賀会終了後は地区RA行事の温泉交流会に移行。



函館東RC 提供



### ■第18回 全国ローターアクト研修会

2月18・19日、関西国際空港近くの全日空ゲートタワーホテル大阪で開催。ホストは2640地区（大阪南部・和歌山）。ロータリアン757名、アクター594名の登録。当地区からは五十嵐地区RA委員が川下地区RA代表ほか8名のアクターを連れられて参加しました。地区RA委員長や地区RA代表、ノミニー、地区RA幹事などの分科会が行われ、夜の懇親会とともに全国的な情報交換の場となりました。

ところで五十嵐地区RA委員は92年、札幌で開催されたアジア第1第3ゾーン研修会（全国研修会の前身）にホスト地区RA代表として全国から地区役員を迎えられました。そのとき筆者は、大阪のRAC会長として、札幌へ地区RA代表らを送り出す立場でした。余談ですが。

この原稿は、大阪から帰る道すがら、執筆しています。明日の締め切りに間に合えば幸いです。

今回は来年2月、金沢での開催です。



カンボジア国際奉仕活動報告



アンコールワット朝景



バタンバンの子供

札幌西北RC カンボジア国際奉仕活動報告  
「カンボジア、バタンバン地方に学習教材を贈る」

訪問日程／2006.1.8～1.12

奉仕団 大島会長、加藤国際奉仕委員長、井口会員、中嶋会員、小川会員

札幌西北ロータリークラブ会員5名は、1月7日の早朝厳冬下の中、新千歳空港を出発。成田経由バンコクに深夜着、翌日カンボジアのシエムリアップ空港に降り立つ。シエムリアップ空港には、この度の窓口であるNPO松本さんが出迎えてくれました。シエムリアップを経てカンボジア第2の都市であるバタンバンに向け移動。人口は定かではない。この周辺は数年前まで反政府組織（ポルポト派）の活動地域であったが、反政府組織がほぼ壊滅状態になった現在は、一般旅行が可能になった。交通の便は悪く、陸路又は水路のいずれかしかなく、距離にして80km位の道程であるが、往路は悪路と埃が漂うコースに6時間を要し、目的地バタンバンに入りました。松本さんの事務局に立寄り、今回の目的である奉仕活動の品目の目録を手渡し、スケジュールの調整会を行いました。

この度の奉仕活動では、当クラブ単独で、日本円30万円を

拠出し、学習教材を本箱と一緒に贈呈することになりました。地区で6校をセレクトして配布することになり、早速訪問、現地のスタッフと一緒に目的校に向かいました。

1校目オータキ中学校 2校目ロンチェリ中学校 3校目ワナイロシエセカンドハイスクール 4校目フノントハイスクールの順で、当クラブ旗と教材一式を持参、贈呈セレモニーを行いました。時間帯により生徒さんが多く参加された学校や、残り組の学生さんの出席のもと、当クラブ会長と学校長との交流挨拶が交わされました。

席上大島会長は戦後日本復興と豊かになった日本の現状を語り、国際ロータリーの奉仕活動もPRし、今後若い世代に期待していると結びました。全生徒の出迎えと見送りの中、爽やかな一連の行事に満足感を覚え、近くて遠いカンボジアの地で無事奉仕活動を終えることが出来、感無量なものでありました。

会報委員レポート 小川真治



教材（本棚）一式贈呈



校長先生に教材贈る



ロイチェリのハイスクールで贈呈



フノントハイスクールにて



オータキハイスクールにて



**会員計報・新入会員のご紹介**

**会 員 計 報**



**藤 井 清** 会員 (札幌東RC)  
2005年12月30日ご逝去(享年92歳)

**【ロータリー歴】**

1962年(昭和37年)10月4日入会  
1963～1964年度 会報委員長  
1965～1966年度 幹事  
1969～1970年度 職業分類委員長  
1986～1987年度 米山奨学委員長  
1987～1988年度 音楽委員長  
2002年3月より名誉会員

**【表 彰】**

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)  
米山功労者(3)



**藤 田 信 一** 会員(苫小牧北RC)  
2006年1月14日ご逝去(享年83歳)

**【ロータリー歴】**

1970年(昭和45年)1月20日入会  
苫小牧北ロータリークラブチャーターメンバー  
1971～1972年度 副会長  
1972～1973年度 第4代会長  
1992年 苫小牧東ロータリークラブ設立特別代表  
その他多くの理事・委員長を務めました。

**【表 彰】**

35年間100%出席  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)  
米山功労者(3)



**田 中 正 臣** 会員 (苫小牧RC)  
2006年1月26日ご逝去(享年77歳)

**【ロータリー歴】**

1971年(昭和46年)6月4日入会  
1989～1990年度 会長  
2000～2001年度 第2510地区 ガバナー補佐

**【表 彰】**

28年間100%出席  
ポール・ハリス・フェロー

**新入会員のご紹介**

(敬称略)



**木野村 英 明**  
岩見沢東RC  
平成17年12月6日入会



**中 村 一 重**  
三石RC  
平成18年1月1日入会



**岩 崎 三 日 子**  
札幌大通公園RC  
平成18年1月13日入会



**赤 山 登**  
岩見沢RC  
平成18年1月20日入会



**半 田 善 行**  
小樽RC  
平成18年1月24日入会



**田 中 裕 之**  
札幌モーニングRC  
平成18年1月25日入会



**柳 沢 則 昭**  
苫小牧RC  
平成18年2月10日入会

**ご協力に感謝申し上げます**

**ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます**

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

津田政勝 会員 1回 (江別RC) 12月12日  
小坂昭男 会員 2回 (岩見沢RC) 1月13日

鈴木俊幸 会員 2回 (札幌東RC) 1月31日  
酒井正人 会員 2回 (函館五稜郭RC) 1月13日  
山本正幸 会員 1回 (苫小牧RC) 1月27日

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功労者**

奥山裕章 会員 1回 (美唄RC) 1月23日  
平田勝美 会員 2回 (札幌手稲RC) 1月27日  
阿部功 会員 1回 (恵庭RC) 1月26日  
村上利雄 会員 2回 (恵庭RC) 1月26日

菅俊治 会員 3回 (伊達RC) 1月17日  
酒井正人 会員 6回 (函館五稜郭RC) 1月13日

**米山功労クラブ**

札幌手稲 RC 20回 1月27日

**2007-08年度ロータリー財団  
国際親善奨学生募集について**

国際ロータリー  
第2510地区  
(北海道南西部)

**[奨学金の概要]** 奨学金の種類と支給総額上限は次の通りです。募集人数はすべて若干名です。

- |   |              |     |
|---|--------------|-----|
| 1. 3カ月文化研修奨学金 (3カ月の語学・文化研修費用の援助)        | US \$ 12,000 | 若干名 |
| 2. 6カ月文化研修奨学金 (6カ月の語学・文化研修費用の援助)        | US \$ 19,000 | 若干名 |
| 3. 1学年度奨学金 (1学年度の留学費用の援助)               | US \$ 26,000 | 若干名 |
| 4. マルチイヤー奨学金 (学位取得を目的とした留学費用の援助 - 2年間で) | US \$ 26,000 | 若干名 |

**[応募資格]**

- 本奨学金の趣旨 (申請書類参照) に賛同する人
- 日本国籍 (特別永住者を含む) を持ち、2007年7月に20歳以上であること
- 応募時に日本国内に居住しており、第2510地区 (北海道南西部) 内に、本籍か現住所、あるいは勤務先、通学先があること
- ロータリークラブ会員 (退会後3年以内を含む) とその家族 (2親等以内) ならびにクラブ被雇用者でないこと
- 文化研修奨学金の場合、2007年7月までに大学2年の課程 (専門学校、短大を含む) を修了しているか、または高卒後2年以上の職業経験があり、研修予定国の言語について、大学初年次程度の勉学を修了していること
- 1学年度あるいはマルチイヤー奨学金応募者で、英語圏希望者は応募時にTOEFL・CBTで213点 (PBTで550点) 以上を取得していること (留学時にはCBTで250点 (PBTで600点) 以上が望ましい)。他の言語の場合は、応募時にそれぞれの言語の検定試験の上位級に合格していること。ただし、合格後に、当該言語のレベル判定試験を受けることを求められる場合があります。詳細は送付する申請資料をご覧ください。

**[応募期間]** 2006年2月13日-4月14日 (地区内ロータリークラブへの申請書類提出期間)

**[申請資料請求先・問合せ先]** 〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階  
国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所  
電話/011-207-2510 メール/d2510go@wave.plala.or.jp

## 例会変更について・文庫通信

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 江別西RC：3月7日（火）移動例会 18：00～ 場所：えぼあホール（江別市大麻中町26-7）  
3月14日（火）休会（定款第5条第1節により）  
3月21日（火）休会（法定休日のため）
- 岩見沢RC：3月17日（金）親睦夜間例会 18：00～ 場所：つぼ八（岩見沢市6条西4丁目）  
岩見沢東RC：3月21日（火）休会（法定休日のため）
- 室蘭RC：3月30日（木）休会（定款第5条第1節により）  
室蘭東RC：3月29日（水）休会（定款第5条第1節により）  
室蘭北RC：3月21日（火）休会（法定休日のため）  
3月28日（火）夜間例会 18：30～
- 苫小牧RC：3月31日（金）休会（定款第5条第1節により）  
苫小牧東RC：3月9日（木）移動例会「ボウリング大会」 18：00～ 場所：スガイボール（イオン内）  
3月30日（木）休会（定款第5条第1節により）  
苫小牧北RC：3月21日（火）休会（法定休日のため）  
3月28日（火）移動例会 18：00～ 場所：スナック純

## 文庫通信 221号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「魅力あるクラブづくり」

- ◎「魅力あるクラブづくり」  
2005 34p (RI会長主催祝賀会議分科討論会テーマ別寄稿集)
- ◎「ロータリー・クラブの活性化について」  
菅生浩三 2006 4p (D.2650月信)
- ◎「『超私の奉仕』について」  
曾我隆一 2005 4p (D.2840月信)
- ◎「ロータリーとは？-超私の奉仕-」  
成川守彦 2005 12p (D.2770指導者育成セミナー)
- ◎「ロータリーに学ぶ 指導者育成について」  
田中作次 2005 15p (D.2770指導者育成セミナー)
- ◎「ロータリーの標語に関連し私の経験を語る」  
三國智造 2005 6p (D.2830月信)  
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリーとは何か（ロータリー入門）」  
松崎勝一 2005 11p  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「地区リーダーシッププラン(DLP)クラブリーダーシッププラン(CLP)について」  
佐野正行 2006 2p (D.2550月信)
- ◎「クラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) の重要性」  
大久保 昇 2006 2p (D.2650月信)
- ◎「ロータリー理解度検定試験 楽しみながらロータリーが解る!!」  
2006 11p (D.2500月信)  
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

地区カレンダー (3月・4月)

3月	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	2006年3月終了米山奨学生歓送会 (札幌)
5 (日)	地区チーム研修セミナー (札幌)
6 (月)	
7 (火)	ガバナー指名・諮問委員会 (札幌)
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	ロータリーの友委員会 (東京)
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	地区ローターアクトセミナー (札幌) 2006-07国際親善奨学生合宿オリエンテーション
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	春分の日
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	地区R財団セミナー、米山セミナー (札幌) 会長エレクト研修セミナー (札幌) 派遣GSEチーム帰国
26 (日)	会長エレクト研修セミナー (札幌)
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	

4月 ロータリー雑誌月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	地区協議会 (札幌)
10 (月)	
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	第3700地区 (韓国) 地区大会
15 (土)	第3700地区 (韓国) 地区大会
16 (日)	
17 (月)	
18 (火)	
19 (水)	
20 (木)	
21 (金)	
22 (土)	第10・11グループ合同IM (函館)
23 (日)	
24 (月)	
25 (火)	
26 (水)	
27 (木)	
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	

## 1月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,057人 (99人)
増加会員数	71人
当月平均出席率	83.37%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.1.31	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	91.43
	羽 幌	4	49	45	-4	1	77.02
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	76.60
	小 平	4	13	13	0	0	76.92
	留 萌	3	49	50	1	0	95.05
	小 計		159	156	-3	3	83.40
	2	赤 平	4	34	35	1	2
芦 別		4	48	46	-2	0	80.95
砂 川		3	50	53	3	0	97.33
滝 川		4	106	105	-1	1	75.00
小 計			238	239	1	3	84.93
3	美 唄	4	41	41	0	0	90.71
	江 別	3	36	38	2	1	86.48
	江 別 西	4	35	36	1	3	88.88
	岩 見 沢	3	95	95	0	0	89.94
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	87.90
	栗 沢	3	24	23	-1	1	94.00
	栗 山	4	26	28	2	2	96.19
	当 別	4	38	36	-2	1	84.03
	小 計		330	333	3	12	89.77
4	札 幌	3	123	137	14	0	98.37
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	81.25
	札 幌 北	3	43	41	-2	5	95.83
	札幌モーニング	3	53	52	-1	0	75.67
	札 幌 西	4	72	71	-1	3	91.57
	札 幌 西 北	3	48	49	1	2	95.24
	札 幌 手 稲	4	41	40	-1	1	97.50
	小 計		419	431	12	16	91.93
5	札 幌 東	4	121	117	-4	0	98.13
	札 幌 清 田	4	28	28	0	7	100.00
	札 幌 幌 南	3	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	3	46	47	1	3	91.68
	札 幌 南	3	89	91	2	0	94.91
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	78.94
	札幌セントラル	4	17	16	-1	5	70.00
	新 札 幌	3	32	34	2	2	91.11
	小 計		422	421	-1	21	90.60

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.1.31	増減	内女性	
6	岩 内	3	28	30	2	0	67.95
	倶 知 安	3	50	50	0	3	52.00
	小 樽	4	64	71	7	1	79.39
	小 樽 南	4	82	80	-2	0	81.07
	小 樽 銭 函	3	25	25	0	3	88.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	84.08
	余 市	3	44	45	1	4	73.30
	小 計		304	312	8	11	75.11
7	千 歳	3	61	67	6	4	83.10
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	82.20
	恵 庭	3	49	49	0	0	78.99
	北 広 島	3	17	17	0	2	84.32
	長 沼	3	18	18	0	3	88.89
	由 仁	4	13	13	0	0	78.85
	小 計		185	192	7	9	82.73
8	え り も	4	23	23	0	0	88.04
	三 石	3	16	18	2	1	96.20
	様 似	4	18	18	0	1	80.55
	静 内	3	66	73	7	0	78.53
	浦 河	4	33	35	2	1	67.57
	小 計		156	167	11	3	82.18
9	伊 達	4	55	60	5	0	78.33
	室 蘭	3	50	49	-1	0	74.15
	室 蘭 東	3	43	47	4	0	93.80
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	83.55
	登 別	3	36	35	-1	2	83.33
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	83.40
	小 計		230	238	8	4	82.76
10	函 館	4	91	91	0	0	82.61
	函 館 亀 田	3	43	45	2	1	71.11
	森	3	42	41	-1	0	77.30
	七 飯	4	20	20	0	0	63.70
	長 万 部	3	10	8	-2	0	70.00
	函館セントラル	4	0	30	30	2	79.17
	小 計		206	235	29	3	73.98
11	江 差	4	17	17	0	0	77.50
	函館五稜郭	4	63	66	3	0	88.21
	函 館 東	4	43	41	-2	4	81.14
	函 館 北	4	32	33	1	0	80.82
	上 磯	4	26	23	-3	2	63.00
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	189	-1	7	76.78	
12	白 老	4	23	21	-2	0	64.00
	苫 小 牧	3	56	57	1	1	73.49
	苫 小 牧 東	4	31	29	-2	3	86.21
	苫 小 牧 北	4	37	37	0	3	93.06
	小 計		147	144	-3	7	79.19
合 計		2,986	3,057	71	99	83.37	

**SERVICE** Above Self

